

の魚を釣る気がしませんでした。こうあることが、天地自然の摂理に叶うことのように思えたのです。

私は幼い時から釣が好きで、いろいろ釣にまつわるエピソードを残しましたが、或る時、釣りに行って山道を帰る途中道に迷ってしまいました。幼い頃から物怯じしない質の私は、そのまゝ山の中でねむってしまったのです。ところが村は大騒動でキツネにだまされたとやら、神隠しにあつたとやらで大騒ぎをし、村中の人々が捜し廻つて、漸く真夜中の2時半頃私を見つけたのでした。以来「迷つたときは動かない」これが私の信条になつたようです。動かずにジーンツとしていれば、道は自らひらけてくる。外からもひらけてくるし、わが内からもひらけてくる。この様な信念を抱くようになりました。

この心境は私の人生の全般に於いて働いておりましたが、永い釣りの生活にも、しみ込んでいます。否、この心境を持することによつて、釣が磨かれたともいえるようです。天地のある限り、あるがまゝにまかせて、無念無想、自他の区別を去つて、生死の境にいることすら忘れ去つて物象の動きに見入るのです。物象に逆つてはいけません。一瞬何かひらめくと、この一瞬の活路にすべてをぶちこむことになります。

又釣をしていると、必ず自分でわからなくなる位、ゆきづまることが何回もあります。周期的にゆきづまりますが、このときは進歩している証拠であると知るべきです。何故なら、今日進歩したから昨日のことがゆきづまつたわけなのですから。今日ゆきづまつたら、明日進歩する道理であります。

釣は結局するところ、自分との斗いであることに気付かされておりましたが、物象をにらむその魂を磨くところに、釣のよさがあると私は思っております。

最後になりましたが、釣りが成り立つためには、どうしたつて生きて魚がいなければならない。魚を殖やすことを考えなければならないのです。海の方はともかく、私は日本の溪流を愛護して、サケ、マスを保護する運動をこゝ二十余年程やつて参り、日本の各界にも沢山の理解を頂いております。昨年は総理官邸に於いて事情をきかれ、今年は農林省で、私の意見を容れる程になりました。皆様の中には、さだめし俺も釣りをやろうと思われる方がおられると存じますが、どうか魚を殖やすこと、魚を無駄に死なせぬことに御尽力下さるよう懇請申し上げる次第でございます。

甚だ簡単ではございますが、これでつり談義を終らせて頂きます。

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

通算第 号

1968~1969-8-13

函館北ロータリークラブ

第209回例会

例会場 函館拓銀ビル

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

米 司 会 深瀬会長 米 育 唱
米 ビジター 函館R・C 東海林正春君他 14名
函館東R・C 高野

米 報 告 先週土曜 会長幹事会がもたれました。

1. 外外クラブ設立について。(公前、亀田、大野)
2. 交換学生の受容体制について
3. 来年度インターについて
4. 函館三クラブ合同社会奉仕について

米 出席委員遠藤委員

先週拡大委員会を開くことを云われ、10~15名のクラブ委員の増員に努力することになりました。御協力をお願い致します。

米 幹事報告

来月5月25~29日に亘り、ハワイのホノルルで国際大会が開催されます。参加を希望される方は至急御申出下さい。詳しくは、函館東クラブ釣谷会員の説明を頂いて下さい。

米 ニコニコ、ボツクス

1. 親睦委員長 金一封
2. 昨年度100%出席11会員 金一封

米 第1回北クラブ ゴルフ大会開催について。幹事 佐々木会員・椎名会員

米 家族会 ハガキでコース選択。

米 映 画